



# 歴史まちづくり

ニュース

第16号



発行：名古屋市観光文化交流局歴史まちづくり推進室 Tel.052-972-2782

発行日：平成31年2月

## 歴史的町並みを活かしたまちづくりに関するアンケートを実施します!!

有松の町並みや伝統的建造物などを活かしたまちづくりの参考とするため、地区内にお住まいの方へのアンケートを行います。回答にご協力をお願いします。

**配布日** 平成31年2月中旬

**配布方法** 町並み保存地区内各戸へポスティング

**回答期限** 平成31年2月22日(金)

※同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函ください

※アンケートの配布、回収は「株式会社 アスコ大東」に委託して実施します。

皆様の貴重なご意見をお待ちしています



## 市指定有形文化財 岡家住宅の特別公開を開催しました

12月1日(土)、2日(日)に、伝建地区内の伝統的建造物である岡家住宅の建物公開を行い、2日間で422人の方にお越しいただきました。また、有松あないびとの会の方にご協力いただき実施した「有松の町並みツアー」にも、大変多くの方にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。



## 補助金（伝建地区補助金・町並み保存地区補助金）を検討されている方はお早目にご相談ください(平成32年度補助金の申込締切は平成31年3月末です)

平成32年度に補助金を活用した修理・修景工事をお考えの方は、歴まち室にご相談のうえ、平成31年3月末までに申し込みを行ってください。

補助金を活用して修理・修景工事をされる場合、相談をいただいてから工事着手するまでに時間を要しますので、お早目にご相談ください。

## 町並み保存シンポジウム～歴史的町並みを活かしたまちづくりのこれから～を開催しました

12月2日(日)に、町並み保存に関するシンポジウムを開催しました。基調講演として三重大学准教授の浅野聡氏より、歴史的な町並みを活かしたまちづくりのこれからについてお話をいただきました。また、パネルディスカッションでは、観光地化と暮らしの両立やまちづくり活動の次世代への継承についてなどの議論が行われました。

### 《基調講演》



三重大学 准教授  
浅野聡 氏

- ・人口減少、高齢化の社会の中で、次の世代も住み続けられる持続可能な社会をどう作るかが求められている。有形、無形の色々な地域社会(社会基盤)を継承して活用することができるというのが、新しい市街地が持っていない歴史的な町並みの強み。
- ・有松においては、原点を忘れない(有形と無形のバランス、重伝建の選定基準(伝統的建造物群が意匠的に優秀なもの)、周囲の地区と連携し陸の孤島にしない、持続性のある街づくり活動を生むことなどが大切。

### 《パネルディスカッション》



関宿町並み保存会  
服部吉右衛門亜樹 氏

保存推進派と観光推進派で意見が分かれるが、そんなことを言っている場合ではない、継承問題を真っ先に考えるべき。これからの観光は人の魅力が大事。たった一人でも名物になるような人ができれば、その人に会いに来てくれる。そのためにも、このまちが好きだ、財産だと思ふ心を子供たちに伝えていかないといけない。

絞りも後継者が少なくなっており、5年間かけて次世代の育成を行っている。  
有松には絞りという技術がある。絞りを中心にしながら、世界の大観光都市のように感動を受けられるまちをつくっていくことができれば、後継者も自然とでてくるのでは。



有松まちづくりの会  
竹田嘉兵衛 氏



犬山北のまちづくり推進協議会  
渡邊昭美 氏

商業地として発展したまちであったことを踏まえ、城下町の風情を残しながら活性化を目指している。  
外から入ってくる人もいれば、若い人たちが戻ってくることもある。町の中の活性化があつてこそだと思う。

伝建地区・町並み保存地区に関するご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室

TEL : 052-972-2782 FAX : 052-972-4128 E-mail : a2782@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp